

## 令和7年度 サービス計画

令和7年度は、「自立支援介護」を基本として、認知症の軽減と利用者の人格を尊重した支援を行うと共に、口腔ケアを含む栄養管理と機能訓練等を個別ケアプランに基づいた多職種による連携・協働の支援体制のもと、個々のニーズ・課題解決に向けて実践します。介護サービスの質の評価やデータ活用とPDCAサイクルを推進し、科学的介護による質の高いサービスを提供します。また、単に心身機能の改善ではなく、介護が必要な疾病や障害、認知症状がある状態でも、楽しみや、生きがいを持ち生活出来る環境作りを行います。

感染症や災害が発生した場合であっても、必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制の構築により、日頃からの備えと業務継続に向けた取組を推進します。

施設利用者の健康を第一に考え、医療機関との連携を強化、感染症などに対する予防策を取りながら、利用者及びご家族が希望される「その人らしい生活支援」、自身の能力を活かし、地域社会に積極的に参加する「高齢者の自立生活（尊厳保持）」の支持、開かれた施設創りを継続しつつ、地域住民と高齢者の生活を中心とした地域貢献活動により地域共生社会の実現に向けた取り組みを行います。

また、良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりへの取り組みを推進していきます。

### ○サービス支援計画（重点化）

- (1) 個別ケアプランに基づく各種サービスに係る目標を具体的に設定し、「自立支援介護」を推進します。
- (2) その人らしい生活（QOL：クオリティ・オブ・ライフ）向上にむけた取り組みを行います。
- (3) 特別養護老人ホームとしての機能を活かし、利用者が地域とのかかわりを持てる、地域共生の実現に向けた取組を推進します。

### 「自立した生活を支援」する取り組み

#### 1 「自立支援介護」の取り組みについて

多職種による連携・協働の支援体制のもと、利用者が自尊心を失うことなく、自立した生活をおくる事ができるよう支援する取り組みを行います。

##### ① 活動の目的

- ・認知症の軽減と利用者の人格を尊重した、自立生活が続けられるよう援助を行います。

##### ② 活動の目標

- ・栄養ケアマネジメントにより利用者個別の栄養管理を強化し、個々に目標設定された機能訓練により、排泄状況の向上と認知機能の改善を目標とし、その人自身の能力を活かした自立生活支援を目指します。

### ③ 活動内容

#### 1) 利用者の水分並びに食事支援について

個別に適した食事及び水分摂取を継続的に強化し、栄養状態の改善・向上に努めます。健康維持・増進の観点から、利用者個々の様態や口腔機能（口腔・咀嚼・嚥下など）の個別な課題対応への取り組みを行います。

#### 2) 個別の排泄に関する取り組みについて

排泄（排尿・排便）に関するアセスメントにより、個別に便座に座る運動機能、排泄周期と下剤（座薬等）による様態把握を継続し、排泄ケアに関する理論のもと、看護師を中心に医師の助言を仰ぎながら個別の課題対応への取り組みを行います。

#### 3) 機能訓練について

個別アセスメントにて、機能訓練の目標を立て、計画・実施・評価し、個別の身体機能に応じた「座位保持・立つ・歩く」を行う、機能訓練による自立を支援する取り組みを行います。

#### 4) 認知症対応について

個々の価値観を踏まえ、水分及び食事（栄養）状態の適正化、機能訓練による心身機能向上、生活の質を見直すことで認知機能の改善を図ります。

### 2 その人らしい生活支援、QOL（クオリティ オブ ライフ）向上にむけた取り組みについて

利用者の有する機能維持・向上を目指す、基本的なケアに対する心身機能向上のアプローチだけでなく、その人の持つ価値観に基づき、ご本人及びご家族の気持ちを重視し、健全で安らかな生活を営む事ができるような生活の場を提供することで、QOL向上に繋がります。

○一人ひとりの個性に合わせた仲間作りや活動（軽作業、レクリエーション）、行事参加等をする事で日々の生活に、楽しみや生きがいを持てる生活の場を提供します。

### 3 地域との共生について

#### （開かれた施設創り）

施設が積極的に、現在の老人福祉を取り巻く状況や介護現場の実態を見ていただく姿勢を持つ事で、地域との相互理解を高め、気兼ねなく福祉の最新情報が得られる（提供できる）環境整備に努めます。

○家族や住み慣れた地域との繋がりを重視した、地域の資源（なじみの店やふるさと訪問）を活用した外出支援等を計画・調整し、家族や地域住民との関りを持っていただけるよう支援します。